

# 3次元社会へ向けて 測技協が果たすべきものとは



公益財団法人 日本測量調査技術協会  
専務理事 齊藤 和也

本年6月15日定時総会を経て、新たに専務理事に就任いたしました。どうぞよろしく願いいたします。昨今の測量技術の進歩や業界周辺を取り巻く環境変化の早さには驚きを隠せませんが、そのような中で、今後測量業界がどの方向を目指すのか、またどのような役割や社会貢献を果たして行くのか、その舵取りをする測技協がどう立ち回るべきなのかを考えると、その任務の重大さに身の引き締まる思いがします。

言うまでもなく当協会の役割は、公益法人の立場として、測量技術（空間情報技術）の高度化と技術普及、成果となる地理空間情報データの標準化や品質向上の促進、また最近頻繁に発生している災害への緊急撮影対応等を行い、国土管理・保全及び広く国民の安全安心の確保に資することです。これらの事業目的や活動は、公益法人化される以前からも行われており、現在に引き継がれています。

今年に入り、俄かに i-Construction が建設業界へ導入され、ICT 技術の本格的利活用が大きく叫ばれています。もともとは日本における少子高齢化社会による生産人口の減少に起因しており、それに伴う労働生産性の低下が危惧されたことによります。特に建設関連業では、そもそも ICT 化が遅れているとされており、この ICT を生産プロセスに組み込んで生産効率や安全性を高めていくことが i-Construction 推進の目的です。測量プロセスではとりわけ ICT 化が進んでいるわけではありませんが、既存技術として利活用されている航空デジタル写真測量や航空レーザ測量をはじめとして、最近では GNSS、TLS、MMS、UAV、ALB（測深レーザ計測）等の先端センサによる 3D データ取得、それらのデータを解析・加工・管理する GIS 技術等を駆使した「なんでも 3D、どこでも 3D」技術が浸透し、ICT 利活用には大きく貢献しています。測量調査は建設プロセス全体の流れの中では最上流部を担うものですが、ここがしっかりしないと下流域まで悪影響を及ぼすことになり、非常に重要な役割を持っていると言えます。

しかし重要なことは、より高度な ICT を追い求めることではなく、その都度取得したデータを次工程にどう繋げていくか（つまり次の利用者に何を提供するか）です。これが以前から言われているように、測量プロセスに求められている大事なキーポイントだと思っています。少し穿った言い方をすれば、どうやって利用者（顧客）が満足する成果を生み出していくか、また誰でもどこでも使いやすくするにはどうしたらよいか、そしてどのように使い方、使い道をコンサルティングしていくか、ここが大事なところ。上流域で作成した成果データは、下流域でどう使われるのか、間違っていないか、

有効に使ってもらっているか、当たり前のことですが、最後まで責任をもって見守ることがこれからの測量業にとって非常に重要になってくると思っています。どちらかという、一般的に測量業は、規定やマニュアルに沿って作業を進めることが多く、また各工程の中で最適な手法で生産効率を上げるように努力をしています。それはそれで重要な生産技術ですが、これから求められてくるのはプロセス全体のコスト低減だと思います。そのための新しい技術開発は同時に行う必要があります。測量全体のプロセス、さらには建設全体のプロセスまで見渡し対応していく、このような流れを作り定着させるのが測技協としての重要な役割だと考えています。

測量技術にとってもう一つ大事なことは、3次元社会に突入して3D情報とか言われるようなビッグなデータをどう効率よく解析処理していくかです。世の中の技術進歩とともに、情報はより複雑になり、社会に生産現場に大量に排出されていきます。その中で何を取捨選択していくか、言い換えれば何が有用で必要な情報かを見極める技術が重要だと思います。大量の情報の中で本当に重要なものだけが情報と言われるもので、不要とされるデータはノイズとなって邪魔します。高度で複雑な作業ですが、これをしないとどんどんデータの大海に水没し、助け出すのに大変な労力を要求され、逆に生産効率が低下しコスト増になってしまいます。大量のデータから役立つデータだけをどのように見つけるか、それが情報化社会におけるもう一つの技術開発であり、空間技術の高度化につながっていくと思っています。そしてそれを後押しするのも測技協の役割だと確信しています。

測技協は、会員企業の皆さんと一緒に、この3次元社会における新しい流れに押し流されないような技術を開発しつつ、業界全体の技術レベルアップを図っていきたいと思っています。また、このところ次世代育成の課題が大きくクローズアップされていますが、「国土をはかる、まもる」という技術を次世代の若者たちへ伝承させていくことは測量業界にとって非常に重要な使命です。そして、やりがいのある未来志向の業界へ導かなければなりません。そのためにも測技協を支えていただいている会員企業の皆さまの継続的な支援が欠かせません。是非より一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

測技協はチャレンジ精神をもって業界を先導し、「魅力ある測量ワールド」を構築していきたいと思っています。